



お問い合わせ
カヤバ株式会社

〒105-5128
東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービルディング 南館28階
TEL.03-3435-3511 FAX.03-3436-6759

統合報告書

カヤバグループレポート2025

2024年4月1日～2025年3月31日



このカヤバグループレポートはFSC®森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤0%）など
環境に配慮した資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場で印刷されています。

私たちへの理解を深めてもらうために

カヤバグループレポートは、カヤバグループの経営・財務・事業の各種戦略、ESG への取り組みなどについて、株主・投資家をはじめとしたすべてのステークホルダーの皆様にご理解を深めていただく目的で2019年度より発行しています。これまで歩んできた1世紀にも及ぶ長い歴史と企業価値を未来へと引き継いでいくためにも、私たち自身が誇りを持てる企業グループとして豊かな未来社会に貢献すべく進み続けるカヤバの可能性にご期待いただきたいと考えています。2024年度は、引き続きカヤバにおける方針策定の基盤となる ESG 経営に焦点をあてて編集しました。注目していただきたいポイントとしては、ESG 経営による未来価値創造ビジョン、2050年アクションプラン、社外取締役による座談会などがあります。さまざまな取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献するべく活動しているカヤバグループへの理解が深まることを期待しています。

引き続き皆様からのご意見を参考に改善を図り、適時、的確な情報開示に努めていきます。本報告書のみならずカヤバコーポレートサイトに掲載しているプレスリリース、技術や環境などに関する企業情報や投資家情報内にある各種レポートもご覧いただけると幸いです。

カヤバの情報開示

コーポレートサイト

<https://www.kyb.co.jp>

財務情報

経営戦略、財務・業績情報など IR 活動に関わる情報を掲載しています。



非財務情報

環境や社会の問題解決に向けた活動に関わる情報を掲載しています。



その他情報

製品情報



モータースポーツ



SNS関連

カヤバ公式 SNS


コーポレートアカウント
Instagram・X


公式 SNS
Instagram・X

拠点紹介動画 (YouTube)


岐阜北工場 岐阜南・東工場 熊谷工場 相模工場

その他はこちらから


YouTube

目次

私たちへの理解を深めてもらうために	01
技術の進化に見るカヤバ90年	03
夢ある明日：100 年企業を目指して描く未来	
CEO メッセージ	05
CFO メッセージ	09
夢ある明日：事業を通じて描く未来	
事業を支える3本柱	15
AC 事業 (オートモーティブコンポーネンツ事業)	17
HC 事業 (ハイドロリックコンポーネンツ事業)	19
特装車両事業	21
夢ある明日：技術を通じて描く未来	
カヤバを支える技術	23
技術開発	23
生産技術	24
品質経営	25
知的財産戦略	27
次代に向けた夢ある製品	29
夢ある明日：ESG 経営を通じて描く未来	
ESG 経営による未来価値創造ビジョン	31
長期ビジョンと ESG 経営	31
ESG 推進体制	33
社内浸透への取り組み	33
環境活動	34
2050年に向けたアクションプラン	34
気候変動への貢献	35
2024年度の活動実績	36
環境マネジメント	38
社会活動	40
労働安全衛生	40
人権基本方針	42
人財戦略	42
サプライチェーンマネジメント	47
ガバナンス活動	49
役員一覧	51
役員報酬等	53
指名委員会および報酬委員会の活動状況	54
社外取締役座談会	55
内部統制システム	59
リスクマネジメント	60
カヤバハイライト	61
財務	61
非財務	64
11年間の財務サマリー	67
グローバルネットワーク	69
社外からの評価 (2024年度)	71
会社概要 / 株式情報	72



対象期間
2024年4月1日～2025年3月31日
(注) 一部、上記期間以降の取り組みも掲載しています。

対象範囲
カヤバ株式会社および国内外関係会社
(注) 環境データに関しては、特に注記のない場合はカヤバ株式会社 (相模工場、熊谷工場、岐阜北工場、岐阜南工場、岐阜東工場、三重工場、長野工場) のデータを示しています。

発行時期
2025年12月

将来の見通しに関する注意事項
本報告書には発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた将来予測を含んでいます。この将来予測は、制作時点で入手できた情報によって判断しており、諸条件の変化によって見通しとは異なる可能性があります。重要な変更事象が発生した場合、適時開示などにてお知らせいたします。ステークホルダーの皆様には、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。



表紙デザイン
カヤバの人財が一丸となって、夢ある未来価値の創出に挑み、人々の暮らしの未来を支える企業姿勢をイメージしました。

技術の進化に見るカヤバ90年

カヤバグループは創業からの油圧技術を礎に、振動制御技術・パワー制御技術へ発展を重ね、近年は電子制御技術との融合により先進的なシステム制御への進化を遂げてきました。

経営理念である「人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献するカヤバグループ」を根幹に、創業者から受け継がれてきた独創の精神に立ち返り、コア技術を進化させながら業績安定化とモビリティ・インフラ・リビングの安全性と快適性を支える力として社会に不可欠な存在を目指していきます。



1935年 少年時代から機械の考案が好きだった菅場資郎は、自らの能力を祖国防衛と世界平和に注ぐことを決意し、1919年11月に菅場発明研究所を創業。そして1935年3月に株式会社菅場製作所を創立。



1945年 菅場産業株式会社に社名変更
1948年 菅場工業株式会社を設立
1959年 東京証券取引所に株式上場
1966年 「世界のカヤバ」としての長期経営ビジョンを明示
1976年 TQCの導入を決定
技術研究所に基礎研究室・材料研究室を開設
1985年 菅場工業からカヤバ工業に社名変更
1989年 資源エネルギー庁長官より表彰
電子機器事業部発足
1991年 生産技術研究所発足

カヤバのあゆみ▶



技術の進化▶

1946年 自動車用ショックアブソーバの試作受注
1950年 ダンプトラック架装を特需生産
1951年 鉄道車両用オイルダンパを開発
1952年 二輪車用フロントフォーク、オイルクッションユニットを開発
1953年 コンクリートミキサ車組立架装開始
1962年 油圧ショベル用シリンダ受注
全油圧駆動式小型コンクリートミキサ車を開発
1964年 全油圧駆動傾胴型コンクリートミキサ車を開発
1967年 ストラット型ショックアブソーバを量産開始
1969年 ステイダンパを量産開始

1979年 洋上補給艦「さがみ」用に洋上補給装置を納入
1981年 小型ベーンポンプを開発
1983年 油圧シリンダ用多層シールを開発
1985年 電子制御フルエアサスペンションを開発
1993年 ショックアブソーバの高生産性ライン (N 09) が完成
1998年 ISO9001を全工場が取得

2009年 周波数感応ショックアブソーバ「ハーモフレック」を開発
2015年 CVT用フローコントロールバルブプレス型ベーンポンプ (7K3) を開発、量産を開始
2019年 ショックアブソーバ用極微低速バルブ (スウィングバルブ) を開発
2020年 スマート道路モニタリングシステムを開発
2021年 二輪車用電子制御サスペンションシステム “KADS” を開発
電子制御ミキサ車 (e ミキサⅢ) を開発

2022年 「スマート道路モニタリング™」を商標登録
2023年 カヤバラリーチームが全日本ラリー選手権に出場
環境作動油「サステナブル™」を世界初公開
油圧機器の油状態診断システムを開発
2024年 建設機械用油圧シリンダ向け油漏れ検知センサを開発
SA市販革新ラインの量産稼働開始
AIを用いた刻印検査技術の開発
AIを実装したSA減衰力のCAE計算技術を構築
2025年 キャンピングカー「VILLATOR」受注開始



ジープ用ショックアブソーバ (1946年)



鉄道車両用オイルダンパ (1951年)



ハイロー形ミキサ (1953年)



油圧ショベル用高圧シリンダ KCH (1990年)



ソレノイド式減衰力調整式ショックアブソーバ (2016年)



eミキサⅢ (2021年)

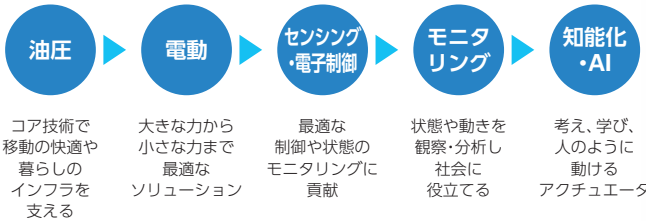


環境作動油サステナブル™ (2023年)



キャンピングカー VILLATOR (2025年)

油圧をベースとした技術の流れは、知能化・AIによってさらなる進化を遂げようとしています。振動制御・パワー制御・電子制御を核として、カヤバの技術は「夢ある明日」を創造し続けます。



2015年 カヤバ工業からKYBに社名変更
システム実験棟・電子実験棟竣工式 (岐阜)
2016年 航空機器事業部を新設
2017年 経営企画本部内にモータースポーツ部新設
2019年 障がい者雇用推進を目的とした「業務支援センター」を総務・人事本部組織に設置
2022年 通称社名に「カヤバ株式会社」を採用

2022年 航空機器事業からの撤退決議
2023年 正式社名・商号が「カヤバ株式会社」に変更
2024年 「IFPEX2024」出展
カヤバレジェンズオープン開催
2025年 創立90周年
知多鋼業株式会社を完全子会社化